

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和元年5月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要 .....	I - 1
2. 工事の実施状況 .....	I - 3
3. 調査結果の概要 .....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質 .....	II - 1
2. 水質 .....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和元年5月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	5月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要(埋立地周辺における調査 水質(一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	5月14日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

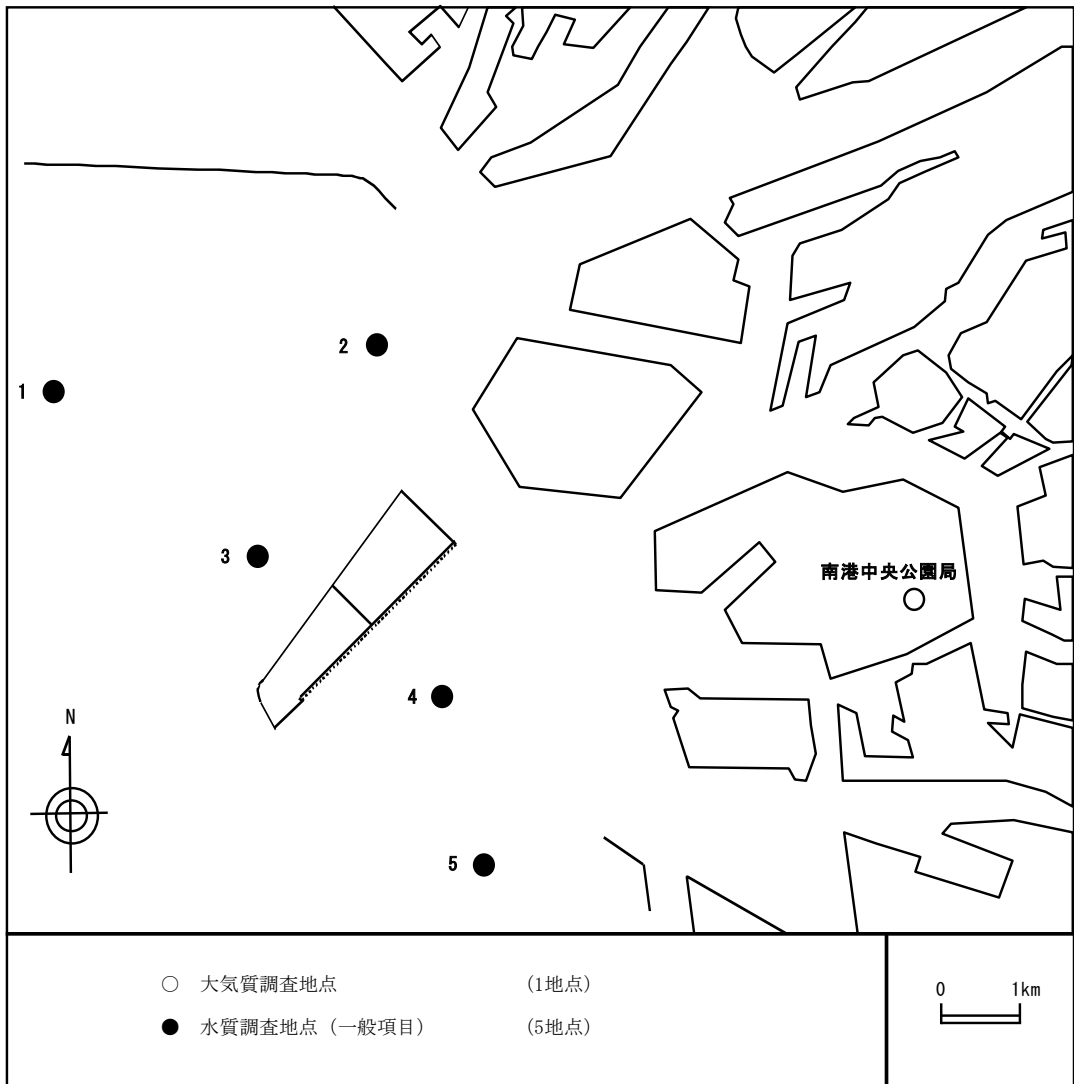
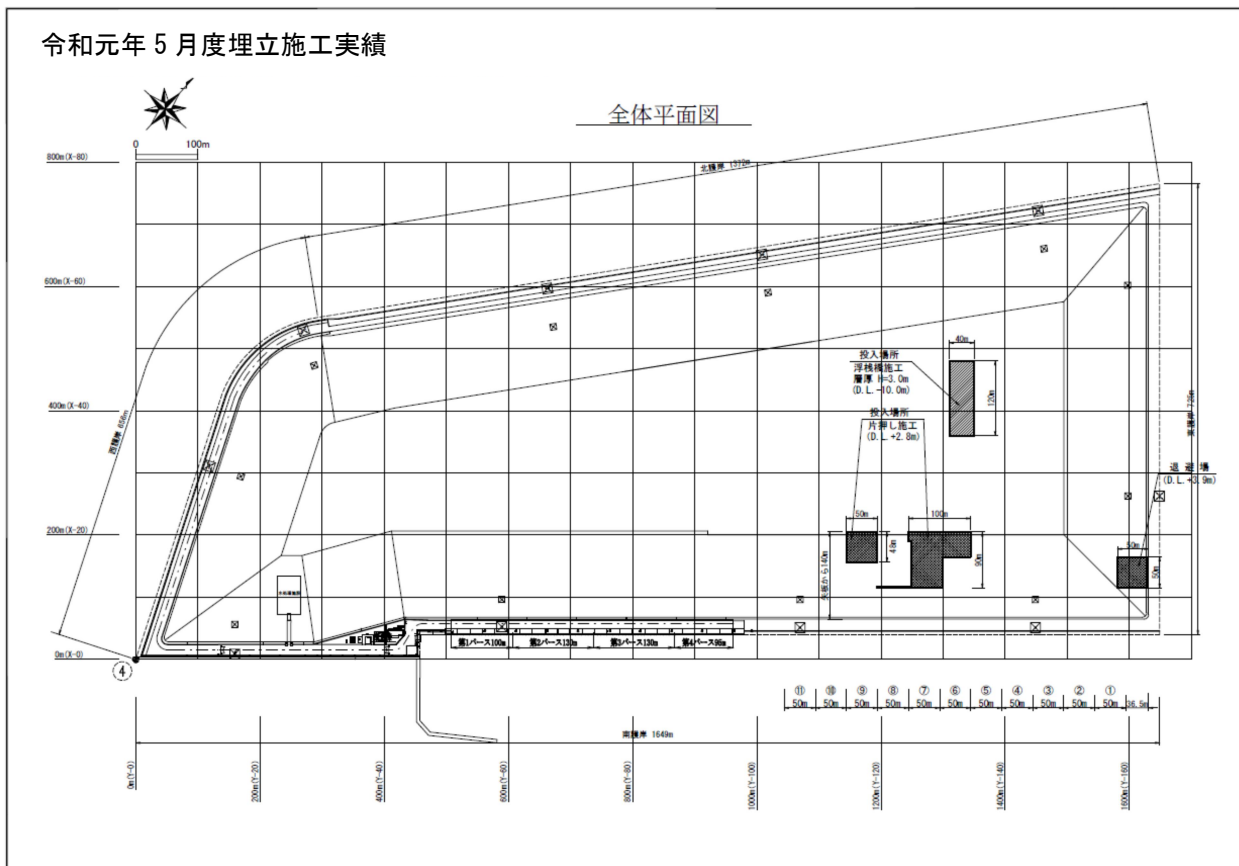


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

令和元年5月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m <sup>3</sup> )	進捗率(%)
5,127,323	36.7

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は0.008ppm、1時間値の最高値は0.027ppm であり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.022ppm であった。また、日平均値の最高値は0.040ppm であり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.019mg/m<sup>3</sup>であった。また、日平均値の最高値は0.047mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.064mg/m<sup>3</sup>であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

###### 1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で 8.4～8.5 の範囲、下層で 7.8～8.0 の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1～4 (8.4) 及び調査地点 5 (8.5) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 7.7～8.6 であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.7～3.9mg/L、下層で 1.5～2.1mg/L の範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (3.9mg/L)、調査地点 3 (3.2mg/L) 及び調査地点 5 (3.2mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

###### 3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～11mg/L、下層で 4.0～6.7mg/L の範囲であり、上層では全

での調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 2 (4.0mg/L)、調査地点 3 (4.0mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.30~0.85mg/L、下層で 0.16~0.29mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.64mg/L)、調査地点 2 (0.85mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.018~0.087mg/L、下層で 0.019~0.12mg/L の範囲であり、上層、下層ともに一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.063mg/L)、調査地点 2 (0.087mg/L)、下層の調査地点 1 (0.054mg/L)、調査地点 2 (0.12mg/L) 及び調査地点 3 (0.062mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成 12 年度)は上層で 0.021~0.15mg/L、上層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

#### 6) 濁度

濁度は上層で 1~3 度(カリン)、下層で 1~4 度(カリン)の範囲であった。

#### 7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で 1~8mg/L の範囲であった。

#### 8) カロフィル a

カロフィル a は上層で 9.3~20.3  $\mu$ g/L、下層で 1.3~6.3  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参考 》

### ■環境基準値等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。  
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について  
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

## 2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。  
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。  
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [令和元年5月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	735
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	1
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和元年5月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.001	0.006
	2 (木)	0.001	0.008
	3 (金)	0.006	0.017
	4 (土)	0.003	0.016
	5 (日)	0.003	0.009
別	6 (月)	0.003	0.009
	7 (火)	0.002	0.006
	8 (水)	0.004	0.010
	9 (木)	0.004	0.009
	10 (金)	0.007	0.013
	11 (土)	0.005	0.014
	12 (日)	0.005	0.011
	13 (月)	0.005	0.009
	14 (火)	0.004	0.009
	15 (水)	0.002	0.006
	16 (木)	0.004	0.009
	17 (金)	0.003	0.006
	18 (土)	0.001	0.003
	19 (日)	0.001	0.007
	20 (月)	0.004	0.014
値	21 (火)	0.004	0.011
	22 (水)	0.005	0.015
	23 (木)	0.006	0.015
	24 (金)	0.008	0.016
	25 (土)	0.008	0.019
	26 (日)	0.008	0.014
	27 (月)	0.006	0.027
	28 (火)	0.001	0.004
	29 (水)	0.003	0.007
	30 (木)	0.006	0.013
	31 (金)	0.005	0.012
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		735	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.027	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [令和元年5月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.002	0.004
	2 (木)	0.002	0.002
	3 (金)	0.004	0.011
	4 (土)	0.002	0.003
	5 (日)	0.002	0.002
	6 (月)	0.002	0.003
	7 (火)	0.002	0.004
	8 (水)	0.007	0.017
	9 (木)	0.005	0.020
	10 (金)	0.009	0.042
別	11 (土)	0.005	0.030
	12 (日)	0.002	0.003
	13 (月)	0.005	0.029
	14 (火)	0.005	0.015
	15 (水)	0.002	0.003
	16 (木)	0.004	0.016
	17 (金)	0.005	0.022
	18 (土)	0.002	0.003
	19 (日)	0.002	0.003
	20 (月)	0.006	0.026
値	21 (火)	0.003	0.005
	22 (水)	0.005	0.021
	23 (木)	0.004	0.016
	24 (金)	0.004	0.018
	25 (土)	0.004	0.020
	26 (日)	0.002	0.004
	27 (月)	0.004	0.035
	28 (火)	0.006	0.025
	29 (水)	0.003	0.006
	30 (木)	0.006	0.025
	31 (金)	0.005	0.027
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.042	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和元年5月分〕

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.013	0.017
	2 (木)	0.010	0.029
	3 (金)	0.021	0.032
	4 (土)	0.016	0.035
	5 (日)	0.013	0.023
別	6 (月)	0.012	0.023
	7 (火)	0.013	0.019
	8 (水)	0.029	0.040
	9 (木)	0.028	0.054
	10 (金)	0.040	0.053
	11 (土)	0.033	0.053
	12 (日)	0.019	0.042
	13 (月)	0.024	0.045
	14 (火)	0.028	0.048
	15 (水)	0.016	0.023
	16 (木)	0.026	0.038
	17 (金)	0.023	0.047
	18 (土)	0.010	0.017
	19 (日)	0.006	0.017
	20 (月)	0.023	0.052
値	21 (火)	0.019	0.029
	22 (水)	0.026	0.045
	23 (木)	0.032	0.061
	24 (金)	0.034	0.062
	25 (土)	0.035	0.064
	26 (日)	0.018	0.041
	27 (月)	0.021	0.065
	28 (火)	0.025	0.050
	29 (水)	0.017	0.031
	30 (木)	0.033	0.050
	31 (金)	0.032	0.058
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.022	
日平均値の最高値 (ppm)		0.040	
1時間値の最高値 (ppm)		0.065	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		1	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [令和元年5月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日	1 (水)	0.015	85.2	0.021
	2 (木)	0.012	84.4	0.031
	3 (金)	0.025	85.3	0.039
	4 (土)	0.018	88.6	0.037
	5 (日)	0.015	86.3	0.025
	6 (月)	0.015	85.1	0.025
	7 (火)	0.015	85.6	0.023
	8 (水)	0.036	80.2	0.055
	9 (木)	0.033	86.0	0.071
	10 (金)	0.049	81.6	0.084
別	11 (土)	0.038	85.9	0.083
	12 (日)	0.021	90.2	0.044
	13 (月)	0.029	82.6	0.074
	14 (火)	0.033	84.8	0.054
	15 (水)	0.019	87.4	0.026
	16 (木)	0.030	86.8	0.051
	17 (金)	0.027	83.2	0.067
	18 (土)	0.012	82.9	0.019
	19 (日)	0.008	73.9	0.020
	20 (月)	0.028	79.7	0.078
値	21 (火)	0.021	86.6	0.032
	22 (水)	0.030	84.6	0.064
	23 (木)	0.036	88.2	0.077
	24 (金)	0.037	90.1	0.076
	25 (土)	0.039	88.7	0.082
	26 (日)	0.020	88.1	0.044
	27 (月)	0.025	82.7	0.100
	28 (火)	0.031	81.4	0.075
	29 (水)	0.020	86.8	0.033
	30 (木)	0.039	83.6	0.070
	31 (金)	0.037	87.1	0.085
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.026		
日平均値の最高値 (ppm)		0.049		
1時間値の最高値 (ppm)		0.100		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		85.1		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub> / (NO+NO<sub>2</sub>) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$\frac{(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} / (\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和元年5月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (水)	0.006	0.010
	2 (木)	0.013	0.023
	3 (金)	0.025	0.038
	4 (土)	0.022	0.029
	5 (日)	0.018	0.025
別	6 (月)	0.015	0.021
	7 (火)	0.010	0.015
	8 (水)	0.011	0.017
	9 (木)	0.014	0.021
	10 (金)	0.026	0.041
	11 (土)	0.028	0.035
	12 (日)	0.027	0.034
	13 (月)	0.020	0.028
	14 (火)	0.019	0.024
	15 (水)	0.010	0.012
値	16 (木)	0.015	0.020
	17 (金)	0.015	0.020
	18 (土)	0.012	0.017
	19 (日)	0.014	0.019
	20 (月)	0.011	0.019
	21 (火)	0.014	0.022
	22 (水)	0.016	0.024
	23 (木)	0.024	0.031
	24 (金)	0.034	0.047
	25 (土)	0.036	0.044
	26 (日)	0.047	0.064
	27 (月)	0.029	0.049
	28 (火)	0.016	0.024
	29 (水)	0.011	0.018
	30 (木)	0.017	0.022
	31 (金)	0.018	0.026
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.019	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.047	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.064	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和元年5月分〕

測定局		南港中央公園				
項目		風速			最多 風向  16方位	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風向 16方位		
日	1 (水)	0.6	1.4	N	CALM	
	2 (木)	0.7	1.5	N, WSW, W	CALM	
	3 (金)	0.5	0.9	W, WSW	CALM	
	4 (土)	0.7	1.3	E	W	
	5 (日)	0.7	1.2	SE	WNW	
別	6 (月)	0.8	1.9	WSW	W	
	7 (火)	1.0	1.9	NNE, N	NW	
	8 (水)	0.6	1.3	SW	W	
	9 (木)	0.6	1.4	SE	CALM	
	10 (金)	0.5	0.9	ESE	WNW	
	11 (土)	0.5	2.0	N	CALM	
	12 (日)	0.6	1.3	ESE	W	
	13 (月)	0.6	1.5	W	CALM	
	14 (火)	0.7	2.0	SE	CALM	
	15 (水)	1.1	2.4	ENE	ENE	
	値	16 (木)	0.7	2.5	SE	CALM
		17 (金)	0.8	2.1	ESE	CALM
		18 (土)	2.2	3.9	ESE	ESE
		19 (日)	1.6	4.0	SE	ESE
		20 (月)	1.2	3.2	ESE	E
21 (火)		0.7	1.4	N	N	
22 (水)		0.7	1.2	WSW	WSW	
23 (木)		0.6	1.1	SE, SW	W	
24 (金)		0.5	1.0	WSW	CALM	
25 (土)		0.5	0.8	WSW	WNW	
26 (日)		0.4	0.8	WSW	CALM	
27 (月)		0.7	1.7	SSW	W	
28 (火)		0.7	1.6	SE	NE	
29 (水)		0.6	0.9	WSW	WSW	
30 (木)		0.5	0.9	ESE, SE	CALM	
31 (金)		0.6	1.4	SE	CALM	
測定時間 (時間)		744				
月平均風速 (m/s)		0.7				
月最大風速 (m/s)		4.0				
月最多風向 (16方位)		W				

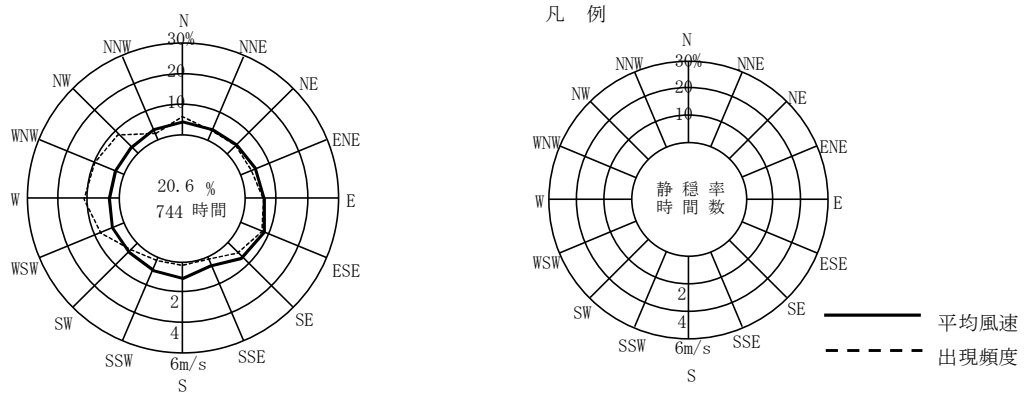
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和元年5月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	25	26	27	42	51	34	5	7	9	20	59	85	75	66	16	44	153	744
頻度 (%)	3.4	3.5	3.6	5.6	6.9	4.6	0.7	0.9	1.2	2.7	7.9	11.4	10.1	8.9	2.2	5.9	20.6	-
平均風速 (m/s)	0.8	0.8	1.0	1.2	1.6	1.3	0.6	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.9	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和元年5月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和元年5月分〕

調査日：令和元年5月14日

調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
項目										
時刻		11:05	11:22	10:52	9:26	9:13	-			-
透明度	[m]	4.0	2.3	6.5	5.7	6.2	2.3	～	6.5	4.9
水温		20.0	20.4	19.0	19.2	20.0	19.0	～	20.4	19.7
	[°C]	16.5	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	～	16.5	16.1
塩分		25.5	23.5	27.0	28.6	28.6	23.5	～	28.6	26.6
	[－]	31.1	31.9	32.0	32.0	32.1	31.1	～	32.1	31.8
濁度		2	3	3	1	2	1	～	3	2
	[度(カリン)]	3	4	2	1	2	1	～	4	2
浮遊物質 (SS)		3	4	2	2	2	2	～	4	3
	[mg/L]	5	8	1	2	1	1	～	8	3
水素イオン濃度 (pH)		8.4	8.4	8.4	8.4	8.5	8.4	～	8.5	-
	[－]	8.0	7.8	7.8	8.0	8.0	7.8	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)		3.0	3.9	3.2	2.7	3.2	2.7	～	3.9	3.2
	[mg/L]	2.1	2.0	1.8	1.8	1.5	1.5	～	2.1	1.8
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	10	10	11	11	10	10	～	11	10
	飽和度 [%]	6.7	4.0	4.0	6.2	6.5	4.0	～	6.7	5.5
全窒素 (T-N)		128	128	140	141	131	128	～	141	134
	[mg/L]	83	49	49	76	80	49	～	83	67
全窒素 (T-N)		0.64	0.85	0.40	0.30	0.33	0.30	～	0.85	0.50
	[mg/L]	0.23	0.29	0.23	0.21	0.16	0.16	～	0.29	0.22
全磷 (T-P)		0.063	0.087	0.025	0.022	0.018	0.018	～	0.087	0.043
	[mg/L]	0.054	0.12	0.062	0.036	0.019	0.019	～	0.12	0.058
クロロフィル a (chl. a)		12.7	20.3	14.7	9.6	9.3	9.3	～	20.3	13.3
	[μg/L]	6.3	3.9	1.3	4.4	2.1	1.3	～	6.3	3.6

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
------